

## 第133回（平成20年度第8回）理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成21年2月10日(火) 19:00～21:00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館2階第1会議室(横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 出席理事： (副会長)野地 澄雄、山田 隆、佐藤 嘉彦  
(専務理事)片 忠夫  
(常務理事)三塚 康雄、木村 徳善、菊地 富士夫  
(理事)徳本 進、金子 理人、吉野 大成、国島みどり、荻野 恭宏、  
安藤 努、百海 廷、岡本 洋一、清水 忠、小池 光、  
齋藤 幸雄、平賀 淳夫、吉岡 去私、大澤 康之  
欠席理事： (会長)河野 洋平  
(常務理事)上田 英之、岡田 良平
4. 出席監事： 木村 信吉、内海 雄三
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 岡本 洋一理事、平賀 淳夫理事を選出
7. 書記： 守谷 紀幸広報委員を指名
8. 議 事

### 1) 競技本部関係

#### (1) 報告事項

菊地競技本部長より、下記の行事について別紙資料のとおり報告がなされ、了承された。また、各行事の収支状況については、ノルディックの一部事業を除き黒字で推移している。詳細は次回理事会に報告書の形で提出したいとの報告があり、片専務理事から収支予算額に対比した収支決算額を示す報告書の作成につき指示があった上で了承された。

ジュニア合宿J1

競技力向上選手強化事業

チャレンジカップ第1戦キャタピラー東日本大会

戸倉3連戦(マスターズ・ジュニア選手権・県民大会・国体選考会)

役員派遣事業

ノルディック合宿

第67回神奈川県選手権大会ノルディック種目

第14回南関東ブロックノルディック・第64回国体選考会

FIS公認第14回神奈川県スノーボード選手権

続いて、平賀理事より、県総体の参加申し込み状況について、参加選手174名、役員99名、合計273名と非常に少ない人数であるとの報告があり、了承された。また、佐藤副会長より、戸倉3連戦を体調不良で三塚常務理事と急遽交代し、ご迷惑をかけたとの報告があり、了承された。

#### (2) 審議事項

第64回国体神奈川県代表選手について

菊地本部長より、県代表選手が別紙名簿のとおり提案がなされ、承認された。

神奈川県総体第60回大会記念品について

菊地本部長より、第60回記念のロゴ入りボールペンを納期の関係ですでに発注済みとなり、事後承認されたいとの提案がなされ、金子理事から作成数量、予算額及び配付対象について質問があり、450本、13万円、選手・役員・地元関係者に配付するとの回答があり、承認された。

## 2) 総務本部関係

### (1) 報告事項

#### 慶弔関係

徳本事務局長より、1月大久保顧問、2月宮園秦野会長の葬儀があり、それぞれ香典・弔電の支出を行ったとの報告があり、了承された。

#### 資金運用状況

金子理事より、1月末現預金残高19,622,583円で、前年同期に比べ若干の減少傾向にあるとの報告があり、了承された。

#### 登録状況

荻野理事より、1月末会員登録総数5597人、団体登録数262でともに前年同期から若干の減と報告があり、了承された。

#### 各種委員会

以下のとおり各理事から報告があり、それぞれ了承された。

##### イ) 普及振興委員会(吉野理事)

1回バス2台での開催となり、69名の参加申し込みがあった。開催場所等は昨年と同じ。

##### ロ) ハンディキャップ委員会(国島理事)

1月23日のセミナーに参加者9名、同24日~25日のスキー教室参加者23名で、検定会も行い、4級3名合格した。

#### 常務会報告について

徳本事務局長より、SAJ問題はSAKとは切り離れた個人の問題でSAKは関与していないことを確認した。(詳細は、野地・山田副会長から報告あり)

続いて、次期会長候補は、常務会で絞込みを行い調整する。現河野会長は70周年記念式典を以って辞任の予定との報告があった。

#### 常務会でのSAJ問題審議経過について(野地澄雄副会長)

今回の問題は、山田隆氏を含む8名のSAJ理事が、SAJの会長選挙において、役員選出委員会の審議結果を全く無視した内容が評議員会に報告され、その結果現会長が決定したことに対して職務停止の仮執行申し立てを行ったというものである。これは山田氏個人の行為であって、SAKは一切関与していないし、これからも関与しないことを1月8日の常務会で確認したとの報告があり、これに対して以下の発言があった。

イ) 競技本部斎藤理事からは、先日群馬の大会で、群馬県連の役員から、これまで仲良くやって来たと、菊地さんが一生懸命やっているのだから会場を貸していたがこれからはどうなるか。さらに平賀理事より、群馬の役員はSAKの問題だと言っていた。県総体の五竜でも毎年長野県連の副会長に来てもらっているが、同様の心配があり、選手への影響が懸念される。また、菊地本部長からは、東京都連主管の南関東ブロックジュニア大会は戸倉から会場変更になったとの連絡をもらっている。

ロ) 山田隆副会長より、「私は群馬県連ともめている認識はない。事の経緯は、SAJの南関東ブロック理事は私しかいないので、役員選考会委員として会議に出席したが、定年を過ぎた会長・副会長を推薦するか否かで8対8で決着がつかず、最終の書面審議では7対7(2名欠席)となり、過半数以上の賛成で決定するSAJのルールがあるため、過半数未満なので推薦は見送ることを決定した。しかし、委員長が評議員会で何も決まらなかったと報告したため、現会長らが選出されてしまった。役選委員会でそういう決定はしなかったということを提訴し、そのことの確認をしようとしている。現会長個人について何か言っているわけではない。役選委員会の決定が確認されれば、役員選挙は失効すると思うが、ともかく、役選委員会では報告とは違う決定をしたということの確認をしている。」との発言があった。

ハ) 佐藤副会長より、「SAKが関与していないことをきちんと理解すべき。山田氏の意見に一理ありと見るが、そこまでやるべきかは一概に言えない。ともかく、審議の手続についての提訴

であり、個人を非難するものではなく、やり直して争点をはっきりすべきである。ただ、迷惑をかけたことは受け止めるべき。ただし、戸倉での大会を止めたら一番困るのは地元だと思う。

二)片専務理事より、「私も同意見である。山田氏がSAK副会長なのでSAKの意見と見られるという議論もあったが、あくまで個人の問題ということである。」

ホ)斎藤理事より、「事前に今の情報があれば対処も違っていただろうが、一方的に言われるとSAKが悪いのかと思ってしまった。」

へ)山田副会長からは、「裁判になれば2年はかかる。もし敗訴するようであれば責任は取る。しかし不正は相手方にある。」との発言を経て終息し、本件は了承された。

#### プレ監査報告

内海監事より、1月28日に3行事のみ実施した。3月に再度プレ監査を実施するので、各行事終了後少なくとも1ヶ月以内に行事報告書を提出されたいとの発言があり、了承された。

#### 大会保険について

国島理事より、これまで行事終了後に参加人員等の報告を行っていたが、今後12月までに全ての事項を報告することとなったので、注意されたい。報告書は事務局にあるので利用されたいとの報告があり、了承された。

#### SAJステッカーについて(金子理事)

金子理事より、SAJキャンペーンステッカー(I Love Snow)の販売についてSAJから1枚200円での協力依頼があった。前年度のステッカーが190枚以上あるので、その処理も検討したい。頒布価格は1枚300円とのことで、了承された。

## (2) 審議事項

#### 海外事業中止について

徳本事務局長より、ブルガリアツアーは参加申し込み2名で中止とした。来年は70周年記念で大規模なツアーを計画したいとの提案がなされ、承認された。

#### 副会長の主な担当分野について

片専務理事より、これまで3副会長の担当分野はフリーであったが、傾向として佐藤副会長は総務、野地副会長は渉外と70周年、山田副会長はSAJ理事で技術担当という棲み分けが自然と出来上がってきたので、これを継続したいとの提案がなされ、佐藤副会長から反対はしないが、他の分野の相談も受けられると理解されたいとの発言があり、承認された。

#### 県連創立70周年記念行事委員会と予算について

片専務理事より、70周年記念行事の会場ベイシェラトンホテル、日時10月3日(土)及び予算(別紙)が決定済みで、連盟負担金は基金を取り崩して充当する。今後決定すべきことがたくさんあり、3月から4月にチームを組んでいきたいので、協力されたいとの提案がなされ、承認された。

#### 新公益法人化委員会の設立について

片専務理事より、ガイドンス(冊子)を読めば概略は理解できる。県体協、横浜・川崎・相模原市体協は移行が決定しており、他の財団法人化された団体も検討しているので、本連盟も移行を進めたいとの提案がなされ、佐藤副会長からガイドンスを読んだ限りでは大きな障壁はないので、早期の移行を検討したいとの発言があり、承認された。尚、委員に佐藤副会長、片専務理事、上田総務本部長、徳本事務局長、金子理事が承認された。

#### 規約規程委員会の発足について

片専務理事より、諮問事項は、寄付行為の変更(スノーボードの明文化)、役選規程の見直し(ブロック制、メンバー選出、委員会運営細則、上部団体派遣役員規程)、南関東ブロック連絡協議会規程の変更との提案がなされ、野地副会長から南関東ブロックは投げかけの材料作りかとの質問があり、そのとおりとの回答があり、承認された。

#### 県連会長候補について

佐藤副会長から、会長問題は取り組まなければいけない問題だがセンシティブな部分も有り難しいとの発言があり、片専務理事から内部登用か著名人招聘か意見が分かれる。各協会長や顧問参与

の意見も聞いていかないといけないので、4月以降に協会長会議や顧問参与会議を開催するとの提案がなされ、承認された。

### 3) 教育本部関係

#### (1) 報告事項

木村教育本部長より、以下の行事につき別紙のとおり報告があり、了承された。また、指導員養成行事で3名、プライズテスト行事で1名の負傷者が発生しており、その後の経過についても報告、了承された。

S A K関係

- ・車山 行事
- ・強化行事(スキー)
- ・五竜 行事
- ・湯沢行事
- ・車山 行事

S A J・南関東ブロック関係

- ・スノーボード指導員検定(第2会場)

行事予定(配布資料参照)

説明は割愛し、別紙資料の提出にとどめた。

前回理事会で審議された準指検定にかかるクレームにつき、申込金返却で決着したとの報告があり了承された。

#### (2) 審議事項

木村本部長より、以下の行事につき別紙のとおり役員・選手の提案がなされ、 については次回理事会に事後承認で予選会の上位選手を選考することと、承認された。

準指導員検定会、B C級検定員検定会の役員について

スノーボード技術選手権南関東大会役員について

テクニカルスキーコンテスト推薦選手(事後承認)

全日本スキー技術選手権大会派遣選手

スキー強化指定選手(今後指定の規程を改正する)

スノーボード行事外部講師派遣

全日本スノーボード技術選大会派遣選手

### 4) その他

#### (1) 佐藤副会長からの提言について

片専務理事より、佐藤副会長からメールで県連の改革に関する提言をいただいたが、非常に深い内容の提言であり、これに基づいて常務会・財務委員会等で議論を深めていきたいと考えているとの発言があり、了承された。

佐藤副会長から、県連運営に復帰して約半年間に感じたことを提案した。ブロック制、資金運用、S A J理事の所属等であるが、しかるべき場所で議論してほしいとの発言があった。

#### (2) 監事報告

内海監事より、3月18日に第2回のプレ監査を実施するので、各行事担当理事は、所定の期限までに報告書を提出されたいとの発言があり、了承された。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成21年 2月 27日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印